

公益目的事業 1 豊かな人間性を涵養するボランティア理解と普及に関する事業

(1) ボランティア研修事業

① ボランティアカフェ

ボランティアの啓蒙・研修を目的に、市内外で活躍されている様々なボランティア活動実践者をお招きし、コーヒーを飲みながら気軽に語り合う会を、年 6 回開催いたしました。

- ・ 4 月 21 日 (日) 「カンボジアの子供達の笑顔の為に」 参加者数：30 名
- ・ 7 月 14 日 (日) 「中国で木を植えてみて」 参加者数：28 名
- ・ 9 月 20 日 (金) 「木工から間伐まで」 参加者数：20 名
- ・ 11 月 9 日 (土) 「ことばでできるボランティア」 参加者数：40 名
- ・ 12 月 14 日 (土) 「アジアの草の根の人々とともに」 参加者数：13 名
- ・ 3 月 30 日 (日) 「カンボジアの子ども達の為に」 参加者数：12 名

② あすての日

あすて設立記念日に、賛助企業、登録ボランティアの皆さんに日頃の感謝の意を伝え、さらにあすての活動への理解を深めていただくために、理事長の講話及び親睦交流会を開催いたしました。
開催日：12 月 11 日(水) 参加者数：120 名

(2) ボランティア広報事業

① 広報

あすての情報を内外に発信することを目的に、あすてのホームページを自前で作成し運営しました。また、館内掲示を充実させ、他団体の事業にも積極的に PR ブースを出展したほか、リーフレットの作成、毎月 1 回の通信「むすび」の編集・発行及びホームページ上での発信を通し、より多くの方にあすての事業を知っていただきました。

② 記録

あすての日々の活動を写真・ビデオなどで記録し、ホームページ上で発信したほか、あすての PR 資料作成などに活用いたしました。

公益目的事業 2 地域の健全な発展のために活動するボランティアグループに対する支援に関する事業

(1) ボランティアグループ活動支援事業

①ものづくり事業

(ア) 森のプレゼント

木工ボランティアが、間伐材を利用して製材・加工・製作が出来るように、木工機械室・工作室の整備を進めました。また、(株)豊田自動織機の賛助を得て、大府市内の保育園にベンチを 12 脚製作し寄贈いたしました。そのほか、豊田市の児童養護施設・梅ヶ丘学園の依頼を受け、ランドセル棚、洗面台収納棚、格子扉などを製作寄贈いたしました。

(イ) ジオラマ

鉄道ジオラマの整備をものづくりボランティアが主体となってい、年約 94 回、地域の方々に開放し運転体験などを行っていただきました。

②環境事業

(ア) あすて地球緑化プロジェクト「砂漠化防止のための中国植林活動」

日本人と中国人のボランティアが協力して中国内モンゴル自治区の砂漠化を防止し、地球環境のことについて、ともに汗を流しながら考える機会とすることを目的に、アイシングループの協力のもと、2013 年 4 月 25 日（木）～29 日（月）の日程で、中国内モンゴル自治区シリンゴル盟シリン浩特市近郊の砂漠地帯にて第 1 回目の現地活動を実施し、2 万平米の土地に約 10 万本の黄柳を植林しました。また、植林用の苗木 24,000 本（1,000 円／本）を目標に募金(あすての森募金)を募った結果、2013 年度は 4,375 本を達成することが出来ました。

参加者数：あすて一般公募 9 名、アイシン国内グループ 21 名、

アイシングループ中国現地法人 20 名 ※いずれも事務局含む 計 50 名

(イ) 循環型社会づくり

グループが主体となって、自然の恵みを活かした社会づくりを模索するため、竹藪の間伐と間伐竹を利用した竹炭・竹製品の製作、畑づくりと落葉、生ごみの堆肥化などを行いました。

(ウ) 4S

あすて施設内の清掃活動、樹木の剪定等のボランティア活動を全グループが主体となって進めました。

(エ) 花壇の整備

グループが主体となって、あすての花壇の整備を進めました。

③福祉事業

(ア) 慰問

グループが主体となって、福祉施設等での慰問活動(太鼓演奏や民族舞踊等)を年 67 回程度行いました。

④チャリティー事業

(ア) あすてチャリティー10日市

手作り品を販売し、収益を社会貢献活動に役立てることで売り手と買い手双方が気軽に社会貢献に参加できる場として毎月10日にあすてチャリティー10日市を開催しました。

売上総額：1,614,970円 収益寄付総額：557,199円(中国植林、東北支援、チャレンジアジア、あしなが育英会、ホスピス支援などに寄付) 出店総数：138 参加者総数：1,483名

(イ) 募金・収集ボランティア

あすて利用者の協力により、年間を通して、ペットボトルキャップ149.82kg、外国コイン1,010個、外国紙幣54枚、ベルマーク9,244点、使用済み切手4.1kg、書き損じはがき537枚、未使用タオル400枚、文具(鉛筆514本、ノート96冊、書道セット4、他22品目)を収集し、日本ユニセフ協会、こどもの里、オイスカなどに寄付いたしました。

また、台風30号の被害を受けたフィリピンへの義援金の募金を行い、19,248円をアジア日本相互交流センターICANに寄付いたしました。

(ウ) Cup and plate for the worldwide smile

ボランティアによる利用者へのランチとコーヒーの提供を通し、収益を難民支援などに寄付いたしました。

ランチ提供総数：5,445食、カフェ提供総数：1,941杯、収益寄付総額：250,000円

(エ) あすてチャリティーコンサート

グループが主体となって、東日本大震災復興支援を目的としたチャリティーコンサートを9月と3月に実施いたしました。

・9月11日(水)「チャリティーコンサート①」参加者数88名 収益寄付額68,390円

・3月8日(土)「チャリティーコンサート②」参加者数35名 収益寄付額22,861円

(オ) 中国植林チャリティーコンサート

グループが主体となって、中国植林活動への支援を目的としたチャリティーコンサートをカバハウスにて実施いたしました。

開催日：10月6日(日) 来場者数：423名 収益寄付総額(会場募金含め)：368,259円

(カ) ミニバザー

利用者が、不用品等を持ち寄り、あすて内での販売を通してその収益を難民支援団体などに寄付いたしました。

収益寄付総額：650,000円

⑤グループ支援事業

グループが日々の活動を円滑に、また活発にできるよう、活動場所の調整、活動の機会の提供、活動の支援、活動の意識向上・指導、登録、ボランティア保険への加入などを行いました。

公益目的事業3 多文化共生を推進し、国際相互理解を図るための国際交流・国際協力及び外国人支援に関する事業

(1) 国際交流事業

①外国人とのスポーツ交流

グループが主体となって、バドミントンなどスポーツ活動を通じた国際交流活動を進めました。

②ホームステイ受け入れ

日本政府の青少年交流事業「JENESYS2.0」を受けた日本国際協力センターからの要請により、以下の通り外国人青少年のホームビジットを受け入れました。

- ・4月4日(木) ASEAN9ヶ国28名の大学生を受け入れ (受け入れ家族11)
- ・5月27日(金) ASEAN9ヶ国27名の大学生を受け入れ (受け入れ家族7)
- ・3月27日(木) フィリピン26名の大学生を受け入れ (受け入れ家族13)

(2) 国際協力事業

①チャレンジアジア 2013 カンボジア

青少年の国際協力とグローバルな視点を持った人材の育成を目的に、幼い難民を考える会の協力のもと、カンボジアプノンペン近郊の保育所にて稲刈り、教材部屋のペンキ塗り、交流会などのボランティア活動を実施いたしました。また9月より全8回の事前研修を実施。

現地活動は12月24日(火)～31日(火)。

参加者数：6名(公募により20歳～40歳までの若者を募集)

②難民支援活動「難民映画上映会」

世界の難民の現状を理解し、支援につなげることを目的に、グループが主体となって難民を題材にしたドキュメンタリー映画「ローズとその家族」を上映いたしました。また、チャリティーカフェ、チャリティーバザー、パネル展も同時開催し、収益をUNHCR、幼い難民を考える会に寄付いたしました。

開催日：6月29日(土) 参加者数：70名 収益寄付総額93,356円

(3) 多文化共生事業

①たのしいにほんご

とよた日本語学習支援システムによる日本語学習の第10期～12期を実施し(1期あたり金曜日と日曜日の2クラス各12回)、3期を通して日本人パートナー74名と外国人受講者99名が、会話を主体とした日本語の習得に励みました。

②日本文化体験デー

外国人の方に気軽に日本文化を体験していただき、国際相互理解につなげることを目的に日本文化体験デーを開催しました。

開催日：3月22日(土) 参加者数：100名

公益目的事業 4 地域の健全な発展を図るために必要な担い手づくり及び児童・青少年の育成に関する事業

(1) ものづくりを通じた児童・青少年育成事業

①ものづくりなぜ?なぜ?プロジェクト

豊田市との共催で、繊維、自動車、陶芸のものづくりの技と心を、達人から子どもたちへ伝える事業を実施いたしました。2013年度は、10年間の活動の集大成として、OB・OGを対象に、より難しいものづくりに挑戦し、3月15日(土)には集大成イベントとして「ものづくリンピック」を開催し、1200名の来場者を迎えました。

参加者数：子ども 66名 指導員ボランティア 128名

(2) 勤労青少年支援事業

①勤労青少年に対する相談対応・指導

あすてを利用する青少年に対し、相談対応、助言等を行いました。また、社会貢献を目指す学生の夢を支援するため、学生が企画した事業を支援する体制を整えました。2013年度は学生の企画による事業は生まれませんでした。ものづくりなぜ?なぜ?プロジェクトの記録映像を淑徳大学の学生に、ものづくリンピックの出展を愛知県立芸術大学の学生に、11月のボラカフェを淑徳大学にて学生とともに実施することができました。

その他事業

①企業研修の受け入れ

賛助企業の研修に対し、ボランティア研修の機会の提供などを行いました。

②他団体との共働・協力・共催

1月18日(土)、19日(日)に、豊田市社会福祉協議会をはじめとした市内外26の団体と共催し、地域密着型福祉全国セミナーin豊田を開催いたしました。また、3月2日(日)にはあったかフェスタを豊田市との共働で実施いたしました。その他、関係団体の事業へのPRブースの出展、備品の貸与等を年間を通して行いました。